

大音量でポップ・テイランを



いい景色といい音楽と美味しい料理の三つは人をしあわせにするのだと言います。休日に中央道を西に走って甲州と信州と越前と美濃あたりを徘徊して、見慣れないものに出会おうとうれしくなってしまう。車はベンツでも BMW でもジャガーでもありません。スピーカーとアンプをおごった日本製の軽自動車です。走り出して気分が高揚し始めたときに大音量でポップ・テイランを流すとしばしの陶酔です。雑事が思考から消えて自由になると未来がよく見えることがあります。何もかもがこんがらがって五里霧中の闇にそれが浮かび上がるのです。本で漁った浅知恵の束のなかから拾えるものが浮かび上がるのはこうしたときです。一人になることはどこでもできますが、旅というかたちでそれができると人は純粹になれるようです。霧が峰高原は美しいところです。ここを中心に有料道路のビーナスラインが敷かれていて、これが無料になったのです。儲けたとばかりにこの3シーズンは春夏秋冬ここに足を運ぶことが多くなりました。縄文のビーナスという縄文土偶が尖石遺跡から出ていて、これがこの道路の名前の由来です。霧が峰から下った山麓は縄文人の生活の場所であったところ。この界隈には天然ガラスの黒曜石がありましたので、鎌(やじり)などを専門に生産して交易する仕組みができていたようです。遺跡めぐりが新しい楽しみになりました。写真は2005年10月28日のビーナスラインで、左の山は蓼科山、正面は車山で白いレーダードームがある。文と写真は旅行家甲斐徹太郎。



計測と科学  
毎週日曜日出刊  
日本計量新報社  
東京都千代田区神田錦町 3-11-8 (武蔵野ビル)  
〒101-0054 TEL 03-3295-7871 FAX 03-3295-7874  
支店 大宮市北区大宮北 1-3-18  
〒331-0077 TEL 06-6451-4495  
編集部 80140-5-10935  
購読料年間 25,000円 (消費税別)

第1部

計量記者  
日本を撮る

2006年 謹賀新年

松本はかり資料館で遊んでください



計測と科学

毎週日曜日発行  
日本計量新報社

東京都千代田区神田区 3-11-8  
(武蔵野ビル)  
〒101-0054 TEL 03-3295-7871  
FAX 03-3295-7874  
支所 大阪市北区大淀北 1-5-18  
〒531-0277 TEL 06-6451-4495  
郵便口座 40140-5-12936  
購読料年間 25,000円 (消費税別)

第2部

計量記者  
日本を撮る

写真は松本市の JR 松本駅から徒歩 15 分の場所にある「松本はかり資料館」。店内からの写真。明治 35 年創業の「竹内度量衡店」の社屋をそのまま保存してはかりの資料館としたもの。養蚕に關係して繭(まゆ)をはかる道具を竹内度量衡店はいくつか開発しており、こうした器物の展示に見るべきものがある。一般の人には明治以降のさまざまな度量衡器を楽しく見物できることであろう。展示物ははかり、ものさし、秤などで、なぜか現在も使われている機械式はかりがあり、デジタルの時代に生き残っているはかりがあることを気付かせる。裏庭には古い時代のタンク式のガソリン計量器があり、懐かしさを一気に高揚させる。資料館のある界隈は古風なたたずまいを意識的に作りだした通りになっているので、昔の記憶を思い起こす手がかりになり懐古にひたることもできるだろう。松本市には松本城があり、ほかにも見るべき施設が多いので、こうしたものを含めて「松本はかり資料館」を訪れると楽しい行楽になること請け合い。入場料は大人 200 円、小・中学生無料。開館時間は 9:00 ~ 17:00、休館は月曜と年末年始。電話 0263-36-1191。JR 松本駅から徒歩約 15 分。館前には駐車場はないので近くにある市営駐車場を利用のこと。写真と文は論説員横田俊英。

2006 年 謹賀新年